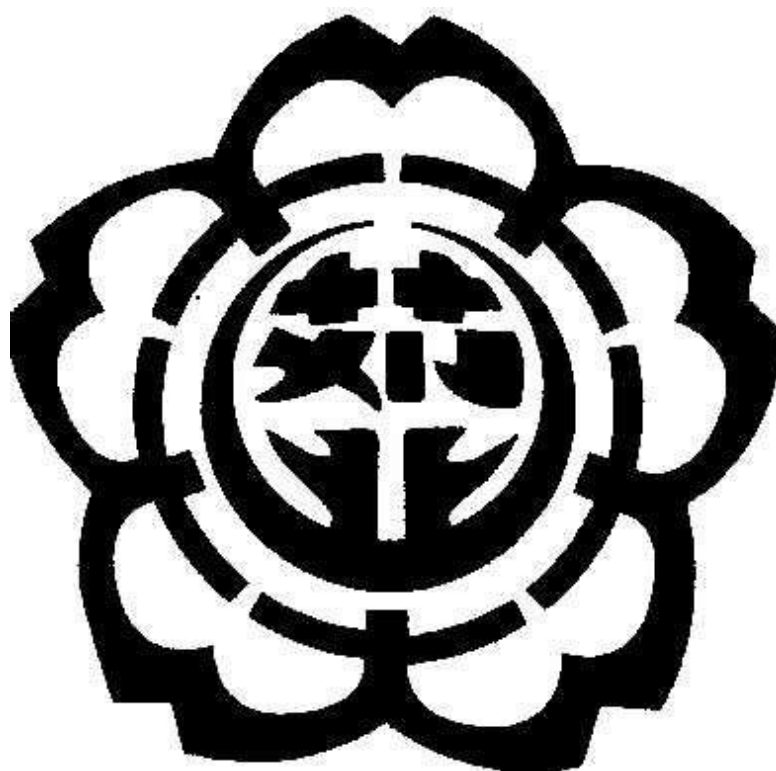


令和8年度

「運営に関する計画」

(期初)



大阪市立荻田北小学校

令和8年4月

大阪市立苅田北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

- ・令和7年度学校アンケート「学校に行くのは楽しいですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合は81.5%であった。
- ・令和7年度本校の不登校在籍比率は5.5%で大阪市の1.95%を大きく上回っている。また、30日には満たないものの休みがちな児童や遅刻する児童も多い。多い時には20人を超える児童が1時間目が始まった後に登校する。
- ・不登校の原因はさまざまであるが、長期化するともともとの原因が何だったかよりも、来ない状況を改善すること自体が難しくなっていく傾向がみられる。登校しづらい状況が見られたときの初期対応に注力していくために、担任が一人で抱え込まずにチームで対応できるようにしていく必要がある。児童や保護者の思いに寄り添いながら、専門家や各種機関との連携をさらに厚くしていく必要がある。どの子にとっても安全・安心で居心地の良い居場所づくりに努めていく。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- ・《令和7年度の大阪市学力経年調査の国語、算数の結果》
大阪市を100とした時の本校の点数

国語	R6	R7
3年		95.7
4年	87.6	89.1
5年	100.6	94.4
6年	96.1	90.5

算数	R6	R7
3年		89.2
4年	90.2	83.7
5年	93.8	94.2
6年	85.6	97.8

- ・本校は大阪市の平均を大きく下回っていることが多い。令和6年度は研究教科国語3年目であったため大阪市の平均に近づいていた。今年度は研究教科を算数とし、国語が少し下がり、算数は向上がみられる学年もある。
- ・「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果は、体力合計点の対全国比は男子は5下回り、女子は2ポイント上回った。例年本校は男女とも全国平均を上回ることが多い。
- ・令和7年度は課題であったシャトルランについて年2回記録をとり、着実に向上していることが分かった。

【学びを支える教育環境の充実】

- ・教員の平均時間外勤務時間（累計）は令和6年度が22時間41分、令和7年度（2月段階）が19時間11分であり、大阪市の平均23時間34分を大きく下回っている。
- ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の6.1%であった。欠席児童が多い月も多く、校内での使用率は向上している。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 11 年度の小学校学力経年調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 84%以上にする。
- 令和 11 年度末の小学校学力経年調査の「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、82%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.02 ポイント向上させる。
- 令和 11 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか。」の項目について、肯定的に回答する児童(生徒)の割合を 86%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

- 小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 65%以上にする。
- 教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 20 時間以下とする。
- 小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 65%以上にする。

2 中期目標の達成に向けた年度目標

【安全・安心な教育の推進】

○小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 81%以上にする。

○小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、81%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○小学校学力経年調査の算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。

○小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85.2%以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○小学校学力経年調査における「授業で学習者用端末をどの程度使用しましたか。」に対して、週 3 回以上と回答する児童の割合を 60%以上にする。

○教員の 1 か月あたりの平均時間外勤務時間を月 23 時間以下とする。

○小学校学力経年調査における「読書は好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 65%以上にする。

3 本年度の自己評価結果の総括

--

大阪市立荻田北小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>① 小学校学力経年調査における「学校に行くのは楽しいと思いますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 81%以上にする。</p> <p>② 小学校学力経年調査における「自分にはよいところがあると思いますか」の項目について、肯定的に答える児童の割合を、81%以上にする。</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>悩みを抱えている児童が相談できる環境を設定し、課題解消を目指す。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校アンケート「困っていることを先生やおうちの人に相談している」において肯定的に回答する児童の割合を 75%以上にする。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 2 豊かな心の育成】</p> <p>互いを認め合うことでより良い学年、学級集団を目指す。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学力経年調査における「自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることが出来ていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。 ・学期に 1 回は、互いのよさを伝え合う活動を行う。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立荻田北小学校 令和 8 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>③ 小学校学力経年調査の算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.01 ポイント向上させる。</p> <p>④ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85.1%以上にする。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>徹底反復学習に取り組み、基礎基本の定着を図る。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時期に応じて週に 2 度、1 回 15 分間の漢字、計算の反復学習に取り組む。 ・計算力の調査を年に 2 回行い、昨年度の学年相当の問題の点数を 1 ポイント以上向上する。 	
<p>取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>わかる授業を創造することを目指し、指導力向上のため、計画的に研修や教材研究に取り組む。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に全体授業に取り組み、各教員が 2 回以上参観する。 ・週に 1 回学年打ち合わせ等で、よりよい授業展開について話し合い、教材研究に取り組む。 	
<p>取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</p> <p>体力向上と進んで運動する意識を高めるための取り組みを行う。</p> <p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なわとび週間を年 2 回（2、3 学期）設定し、進んで運動をする意識の向上を図る。 ・体力が伸びたかを調べるために、シャトルランの記録を年 2 回（1、3 学期）測る。 	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

大阪市立菟田北小学校 令和8年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【学びを支える教育環境の充実】 ⑤ 学校アンケート「タブレットをよく使っていますか」の項目において最も肯定的に回答する児童の割合を50%以上にする。 ⑥ 教員の1か月あたりの平均時間外勤務時間を月23時間以下とする。 ⑦ 学校アンケート「本を読んだり読んでもらったりすることが好きだ。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を74%以上にする。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容① 【基本的な方向6 教育DXの推進】 学習端末を計画的に使用し、活用率を上げる。 ----- 指標 ・各学年1日に1回学習者用端末を活用する	
取組内容② 【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 仕事の効率化を図り、勤務時間内に仕事を終わらせる意識を高める。 ----- 指標 ・月4回のゆとりの日を設定する。 ・教職員の空き時間を確保する。	
取組内容③ 【基本的な方向8 生涯学習の支援】 図書室を充実させ、読書好きの児童を育てる。 ----- 指標 ・図書委員が月1回読み聞かせや本の紹介をしていく。 ・図書館だよりを学期に1回発行する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

令和 年度 学校関係者評価報告書

大阪市立 (学校園名) 学校協議会

1 総括についての評価

--

2 年度目標ごとの評価

年度目標：
年度目標：

3 今後の学校園の運営についての意見

--